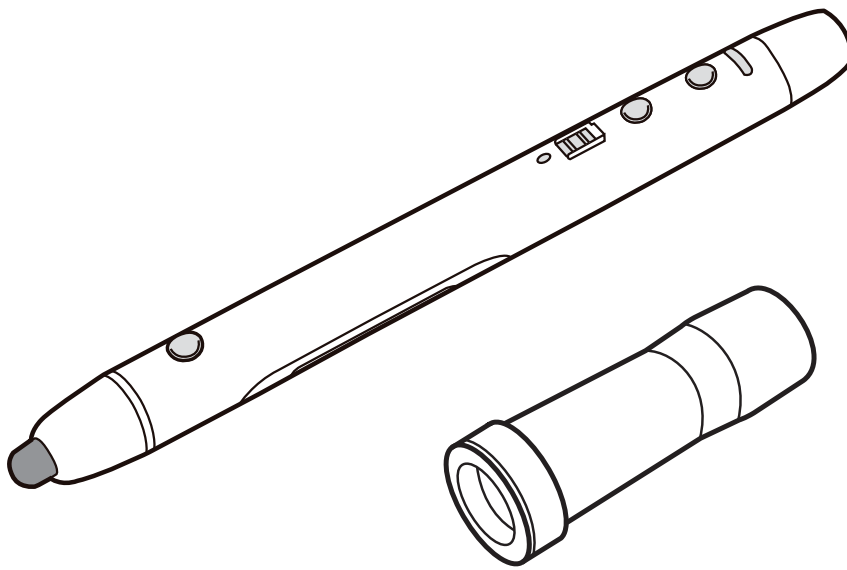


# Panasonic<sup>®</sup>

## 取扱説明書

インタラクティブプラズマディスプレイ専用  
リモートポインターキット

品番 **TY-TPEN1RM**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書付き

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

# はじめに

## 表記について

Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。  
Windows® 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating system です。  
DirectX® の正式名称は、Microsoft® DirectX® application programming interface です。

## 商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows 7、DirectX、Windows Media、PowerPoint および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM は IBM Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core 2 は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。
- Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

## コンピュータのシステム環境

コンピューター	IBM PC/AT 互換機
CPU	Intel Core 2 以上のプロセッサ
オペレーティングシステム (OS)	Windows 7 Service Pack 1 (Starter と Home Basic は除く) 言語：日本語、英語
インターフェース	USB 2.0
メモリー	Windows7 32bit 版：2GB 以上 Windows7 64bit 版：4GB 以上
ハードディスク	250 MB 以上の空き容量
ディスプレイ	解像度 XGA (1024x768) ~ FHD (1920x1080) 色数 32 bit 以上 • マルチモニターの場合は、プライマリーのみサポートします。
Web ブラウザー	Internet Explorer 8.0 以降
Microsoft .NET Framework	.NET Framework 3.5.1 以上
Microsoft Office PowerPoint	PowerPoint 2007, PowerPoint 2010 (32bit)

# もくじ

---

安全上のご注意 .....	4
ご使用上のお願い .....	6
付属品の確認 .....	7
各部のなまえとはたらき .....	8
準備 .....	10
ホワイトボードソフトウェアの起動 .....	12
電子ペンの登録 .....	13
使う .....	14
必要なとき .....	15
仕様 .....	17
保証とアフターサービス .....	18

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

(次は図記号の例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 警告

### 電池について

■ 電池の⊕と⊖は正しく入れる



機器の表示通り正しく入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になります。

■ 電池をショート、加熱、分解したり、火の中へ入れない



液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ 電池に直接ハンダ付けをしない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 被覆のはがれた電池は使わない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 指定以外の電池を使用しない



電池の発熱によるやけどや、液もれにより周囲を汚損する原因になります。

■ 電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する



他の金属や電池と混ざると液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 使えなくなった電池は、すぐに取り出す



液もれの原因になります。

● 電池の液が目に入ったり皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

## 警告

### 電子ペン、光学アタッチメントについて

#### ■ 分解や修理、改造をしない



火災・感電の原因になります。

#### 分解禁止

- 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

#### ■ 医療機器に近づけない

(手術室、集中治療室、CCU\*<sup>1</sup>)  
などには持ち込まない



本製品からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

\*<sup>1</sup> CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

#### ■ 太陽や強い光源に光学アタッチメントのレンズを向けたり、のぞき込んだりしない



太陽や強い光源をのぞき込むと失明の恐れがありますので絶対に見ないでください。太陽や強い光源に向けると、集光作用により周囲の燃えやすいものを発火させ、火災の原因になることがあります。

#### ■ ペン先や電子ペンアダプター、光学アタッチメント、電池は乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

#### ■ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す



電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

#### ■ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

## 注意

#### ■ 長期間機器を使用しないときは、機器から電池を取り出す



液もれの原因になることがあります。

#### ■ ニッケル水素電池以外は充電しない



電池の液もれや発熱、破裂、発火の原因となります。

# ご使用上のお願い

- 電子ペンのペン先を強く押さえたりしないでください。
- 電子ペン、光学アタッチメント表面の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。  
ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
水滴が内部に入ると、故障の原因になる場合があります。
- 電子ペンや光学アタッチメントを落とさないでください。破損したり、動作不良の原因になります。
- 異物が付いたり、変形したり、傷ついたペン先などは使用しないでください。  
画面を汚したり傷つけたりする場合があります。
- 電子ペンのペン先は突起しているので、ぶつけたり、ひっかけたりしないよう注意してください。また、この部分が隠れると、電子ペンが正しく動作しなくなります。
- 電子ペンや光学アタッチメントはインタラクティブプラズマディスプレイの操作以外に使用しないでください。
- 光学アタッチメントのレンズを太陽や強い光源に向けしないでください。動作不良の原因になる場合があります。
- 光学アタッチメントを使用しないで電子ペンから取り外しているときは、内部にほこりが入らないように保管してください。
- 光学アタッチメントは、付属の電子ペン以外の電子ペンには、使用しないでください。

## 無線方式電子ペンご使用上のお願い

電子ペンは電子ペンアダプターとの通信に 2.4 GHz 帯の無線を使用しています。

### 電波を使う機器から離す

電波の干渉による、悪影響を予防するため、次の機器からは電子ペンアダプター・電子ペンとも約 3 m 以上離してください。

- ・ 電子レンジ
  - ・ 無線 LAN 機器（ルーター・AV 機器・防犯機器など）
  - ・ コードレス電話
  - ・ ワイヤレス AV 機器（テレビ・ステレオなど）
- その他、下記の機器も影響が出る場合があります。
- ・ ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - ・ 万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
  - ・ アマチュア無線局
  - ・ 工場や倉庫などの物流管理システム
  - ・ 鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - ・ マイクロ波治療器
  - ・ その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通情報システム）など

### 電波について

#### 電波に関するご注意


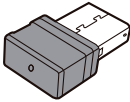
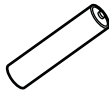


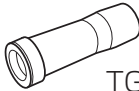
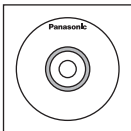
- ・ 本製品は、2.4 ~ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。  
移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「DS-SS 方式」、与干渉距離は 10 m です。本製品には、それを示す右記のマークが貼付されています。
  - ・ 本製品の使用周波数に関するご注意  
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本製品からの移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえで、18 ページのお問い合わせ先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. その他、本製品が移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、18 ページのお問い合わせ先へご連絡ください。

2.4 DS 1

# 付属品の確認

以下の付属品がすべてそろっているか、ご確認ください。  
万一不足の品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## 付属品一覧

充電ケーブル (2 m)	1	電子ペンアダプター	1	単4形ニッケル水素充電式電池*	1
 K1HY05YY0046		 N5EDZ0000006			
電子ペン	1	ペン先 (予備)	2	光学アタッチメント	1
 N2FZ00000017		 TKKL55432		 TGAD002	
ホワイトボードソフトウェア CD-ROM	1				
 TQBC9017					

• ペン先の予備は大切に保管してください。

※ 同梱の充電式電池は本電子ペン専用のものです。交換する際は市販の単4形ニッケル水素充電式電池 (HHR-4MWS) と交換してください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

### 使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ  
詳細は、一般社団法人 JBRC の  
ホームページをご参照ください。

• ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

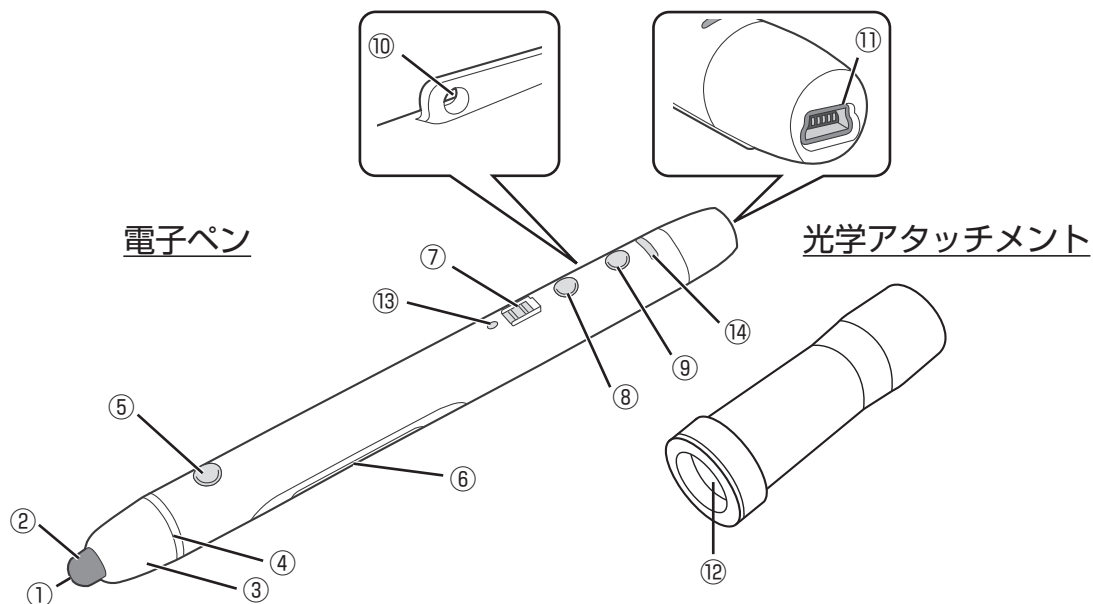


Ni-MH

充電式

ニッケル水素電池  
使用

# 各部のなまえとはたらき



- ① 受光穴
- ② ペン先
- ③ ペン先カバー
- ④ 光学アタッチメント固定用リム
- ⑤ ボタン 1  
電子ペンとして使用する場合はこのボタンは使用しません。  
リモートポインターとして使用する場合は「マウスの左ボタン」と同じ働きをします。
- ⑥ 電池カバー
- ⑦ 電源スイッチ  
電子ペンの電源を入 / 切します。  
充電端子側にスライドすると「入」、ペン先側にスライドすると「切」になります。
- ⑧ ボタン 2<sup>\*</sup>  
ページ送りまたはページ戻しの機能になります。
- ⑨ ボタン 3<sup>\*</sup>  
電子ペンとして使用する場合はページ送り、ページ戻し、または描画色変更の機能になります。  
リモートポインターとして使用する場合はページ送りまたはページ戻しの機能になります。
- ⑩ ストラップホール  
ストラップを取り付けることができます。
- ⑪ 充電端子  
充電時に付属の充電ケーブルを接続します。
- ⑫ リモートポインター用レンズ

※ ホワイトボードソフトウェアの  [設定] で機能を選択できます。



### ⑬ 電源 LED

電子ペンの電源が「入」のときに緑色に点灯します。

電子ペンの電池が消耗してくると緑色に点滅します。

充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

充電時に充電式電池が入っていない場合や、対応外の充電式電池の場合は赤色に点滅します。

電源 LED	動作状態
非点灯	電源「切」
緑色点灯	電源「入」
緑色点滅	電池残量が少ない
赤色点灯	充電中
赤色点滅	充電エラー

### ⑭ 機能 LED

黒色（非点灯） / 赤色 / 青色 / 黄色	表示されている色で描画します。
白色	描画したデータを消します。
赤色と緑色が交互に点滅	電子ペン登録モード (☞ 13 ページ) 電子ペン未登録

#### お願い

- 電子ペンを使用するときは、電源 LED が緑色に点灯していることを確認してください。
- 電子ペンとして使用する場合、電子ペンはペン先を画面に当てて使用してください。
- ワイヤレスモジュール（品番：ET-WM200）を接続した状態で電子ペンを使用しますと、電波干渉等で電子ペンが正常に動作しない場合があります。その際は、インタラクティブプラズマディスプレイの「無線 LAN」を「オフ」にして電子ペンをご使用ください。  
(☞ インタラクティブプラズマディスプレイ取扱説明書ネットワーク操作編)

#### お知らせ

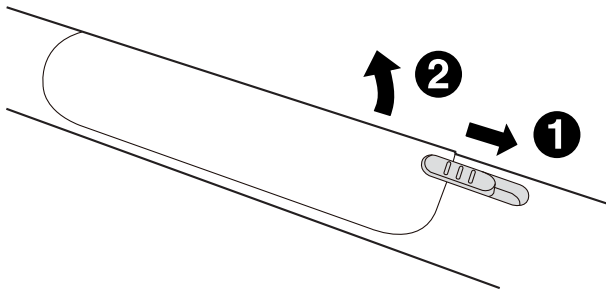
- ホワイトボードソフトウェアのメインメニューで描画色または消しゴム機能を選択した場合、機能 LED は選択前の色で保持されます。
- 電子ペンは最大 4 本まで同時に使用できます。
- 電子ペンが使用されていない状態が一定時間（約 5 秒\*）続いた場合、スリープ状態になり、電池の消耗を抑えます。

※ リモートポインターとして使用時は約 3 分

# 準備

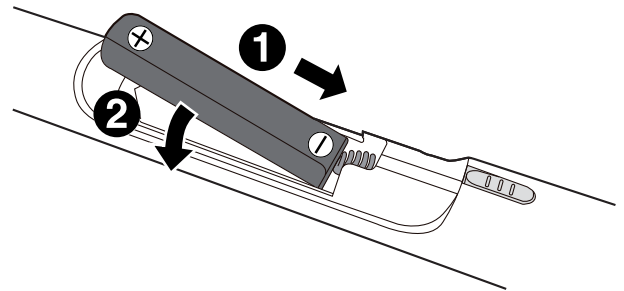
## 電子ペンに電池を入れる（交換する）

1. 電池カバーロックをはずし (①)、電池カバーを開ける (②)。



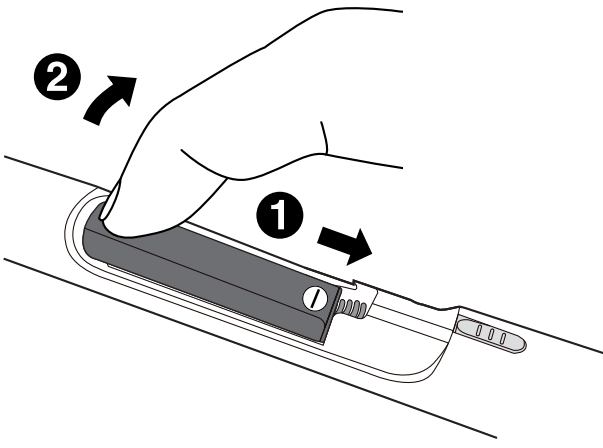
- つける時は手順を逆にしてください。

2. 電池を入れる（交換する）、このあとカバーをつけてロックする。



- 必ず単4形ニッケル水素充電式電池または、単4形アルカリ乾電池を使用し、⊕ ⊖ を間違えないで入れてください。
- 使えなくなった電池は、速やかに取り出し、テープなどで端子部を絶縁し、地域で定められた方法に従って処理してください。

- 電池を取り出す際は、電池の ⊕ 側を ⊖ 側に押しながら (①)、取り出してください (②)。



### お願い

- 充電式電池を交換する際は市販の単4形ニッケル水素充電式電池 (HHR-4MWS) と交換してください。

### お知らせ

- お買い上げ時、電池を入れた後、電子ペンが電子ペンアダプターに登録されていない状態で電源を入れると、機能LEDが緑色と赤色の交互に点滅します。一度電源を切り、充電等の電子ペンの準備を行い、12-13ページの順序に従って設定、接続、電子ペンの登録を行ってください。

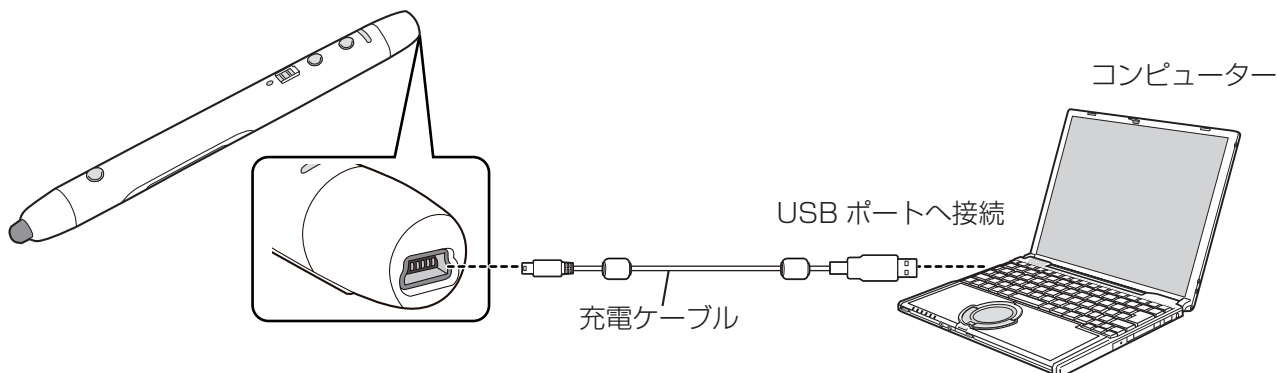
## 充電する

お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。

- 単 4 形アルカリ乾電池をご使用の場合は充電不要です。

付属の充電ケーブルで電子ペンの充電端子をコンピューターの USB 端子に接続する。

- 電源 LED が赤色に点灯し、充電が始まります。(充電が完了すると、電源 LED が消灯します。)



### ■ 充電時間の目安と持続時間

充電時間	使用時間
約 4 時間 <sup>*1</sup>	約 4 時間 <sup>*2</sup>

※ 1 空の状態から充電が完了するのにかかる時間

※ 2 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

### お願い

- 充電式電池を使う場合は、必ず付属または市販の単 4 形ニッケル水素充電式電池 (HHR-4MWS) をご使用ください。
- インタラクティブプラズマディスプレイのワイヤレスモジュール接続端子に充電ケーブルを接続しないでください。
- アルカリ乾電池の充電はできません。
- 電子ペンを保管するときは、満充電を避け、電源を「切」にしてください。

### お知らせ

- 充電中は電子ペンを使用できません。

# ホワイトボードソフトウェアの起動

## 1 インタラクティブプラズマディスプレイにコンピューターを接続する

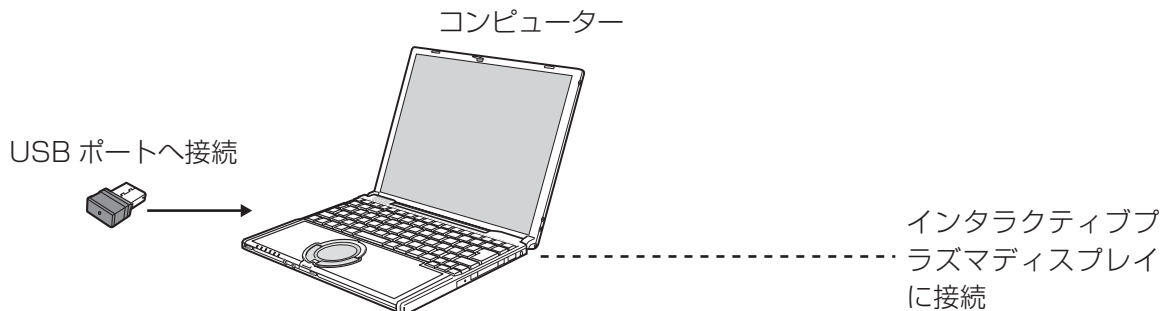
コンピューターとインタラクティブプラズマディスプレイの接続についてはインタラクティブプラズマディスプレイ取扱説明書ディスプレイ編を参照ください。

■ 電子ペンを使用する前に下記のインタラクティブプラズマディスプレイの設定を行ってください。設定方法についてはインタラクティブプラズマディスプレイ取扱説明書ディスプレイ編を参照ください。

- コンピューターの画面がインタラクティブプラズマディスプレイの画面に正しく表示されるように、画面位置、画面サイズを適切に設定してください。
- インタラクティブプラズマディスプレイ「初期設定」メニュー内の「タッチペン設定」を設定ください。

## 2 電子ペンアダプターを接続する

付属の電子ペンアダプターをコンピューターのUSBポートに接続します。




## 3 ホワイトボードソフトウェアの起動

付属のホワイトボードソフトウェアは、インストールの必要はありません。実行ファイルから直接起動することができます。

**1** 付属のCD-ROM内の「WhiteBoardSoft」ファイルをコンピューターのデスクトップにコピーする。

**2** 「WhiteBoard.exe」ファイルを、マウスの左ボタンでダブルクリックする。

### お知らせ


- ホワイトボードソフトウェアの詳しい操作方法はホワイトボードソフトウェアの取扱説明書を参照ください。(P.15 ページ)
- ホワイトボードソフトウェアを起動する前に、必ずコンピューターの画面解像度を、ホワイトボードソフトウェアがサポートする範囲内に設定してください。
- インタラクティブプラズマディスプレイを縦置きに設置されている場合は、コンピューターの画面表示を適切に回転させてください。
- ホワイトボードソフトウェアを終了するには、メインメニューの  [アプリケーションの終了] を選択してください。

# 電子ペンの登録

電子ペンを使用するには、電子ペンを電子ペンアダプターに登録する必要があります。

2 本目以降の電子ペンの登録は、ペアリングツールを使用して行います。

- ・初めて電子ペンを登録する場合は、手順 3 と手順 4 のみを行ってください。2 本目以降の電子ペンを登録する場合は、手順 1 から行ってください。

**1** ホワイトボードソフトウェアのメインメニュー\*から  **【設定】** → **【ペアリングツールの起動】** をクリックする

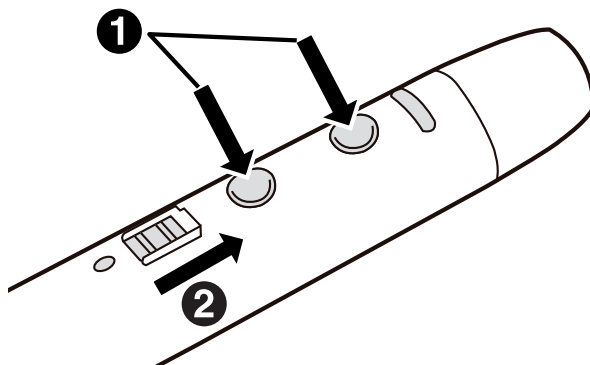
- ・ペアリングツールが起動されます。確認画面が表示されますので、**【OK】** をクリックしてください。

**2** **【ペアリング】** をクリックする

- ・登録を中止する場合は、**【終了】** をクリックしてください。

**3** ボタン 2 とボタン 3 を同時に押しながら **(1)**、電源スイッチを「入」にする **(2)**

- ・機能 LED が緑色と赤色の交互に点滅します。電源 LED は消灯のままです。




**4** 電子ペンを電子ペンアダプターの 2 m 以内（間に障害物が無いこと）に近づける

- ・登録は 1 秒ほどで完了します。登録が完了すると機能 LED が緑色に約 1 秒点灯した後、電源 LED が消灯から緑色点灯に変わります。
- ・登録にエラーが生じた場合は機能 LED が赤色に約 1 秒点灯します。電子ペンの電源を切り、もう一度登録をやり直してください。


**5** 電子ペンの登録が完了すると、ペアリング完了画面が表示されますので、**【OK】** をクリックする。

■ 電子ペンの登録を解除する

電子ペンの登録解除は、ホワイトボードソフトウェアのメインメニュー\*から  **【設定】** → **【ペアリングツールの起動】** をクリックし、**【ペアリング全解除】** を選択してください。

- ・電子ペンの登録解除が完了すると、ペアリング全解除完了画面が表示されますので、**【OK】** をクリックしてください。
- ・電子ペンの登録解除を行うと、登録済みの全ての電子ペンが解除されます。

■ 登録されている電子ペンの本数を確認する

現在登録されている電子ペンの本数を確認するには、ホワイトボードソフトウェアのメインメニュー\*から  **【設定】** → **【ペアリングツールの起動】** をクリックし、**【状態確認】** を選択してください。

## お知らせ

- ・電子ペンアダプター 1 個につき、電子ペンを最大 4 本まで登録できます。
- ・登録した電子ペンは、登録したインタラクティブプラズマディスプレイ以外では使用できなくなります。
- ・複数のインタラクティブプラズマディスプレイを近くで使用すると、電子ペンが誤動作する場合があります。
- ・電子ペンの登録／全解除を行う場合は、近くのインタラクティブプラズマディスプレイの電源を落として行ってください。

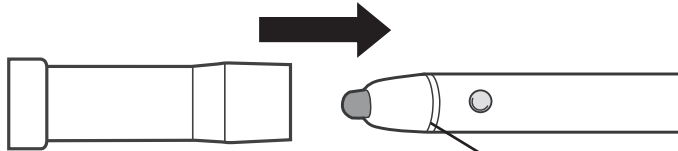
※メインメニューは詳細メニュー表示にしてください。

# 使う

## リモートポインターとして使う

電子ペンに付属の光学アタッチメントを取り付けてリモートポインターとして使用することができます。

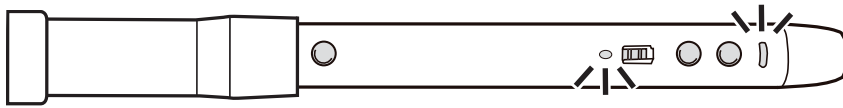
1. 電源スイッチが「切」の状態、光学アタッチメントを光学アタッチメント固定用リムにはまるまでしっかり電子ペンに差し込む



2. 電源スイッチを「入」にする

光学アタッチメント固定用リム

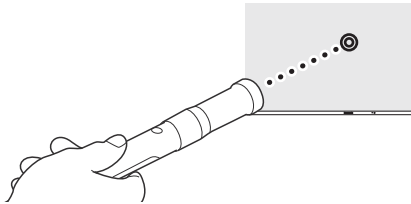
電源 LED が緑に点灯した後、機能 LED が白く高速点滅した後に消灯し、リモートポインターモードになります



- ・機能 LED が点滅しなかった場合は、一度電源を切り、光学アタッチメントをつけなおして、もう一度、電源を入れてください。

3. リモートポインターの先をインタラクティブプラズマディスプレイ画面内に向ける

リモートポインターの先の向きに合わせ画面内にポインターが表示されます。



リモートポインターでは、次の操作を行うことができます。

### 描画

ボタン 1 を押しながらポインターを動かすことで、文字や図形を描画できます。

### 選択

ポインターをメニューのアイコンに移動させ、ボタン 1 を押すことで各種設定や機能を選択できます。描画した文字・図形、ファイルから取り込んだ画像を選択できます。(メインメニューの「オブジェクト選択」選択時。)

### ドラッグ

ポインターを任意のオブジェクト上に移動させ、ボタン 1 を押しながらポインターを動かすことで選択しているオブジェクトを移動できます。

リモートポインターモード中は各ボタンが下記のように機能します。

ボタン 1	「マウスの左ボタン」と同じ働きをします
ボタン 2*	ページ戻し / ページ送り
ボタン 3*	ページ戻し / ページ送り

※ ホワイトボードソフトウェアの  [設定] で機能を選択できます。

### お知らせ

- ・ポインターの設定についてはホワイトボードソフトウェアの取扱説明書を参照ください。(P.15 ページ)
- ・リモートポインターモードから電子ペンモードにするには、電源「切」の状態です光学アタッチメントを取り外し、電源を「入」にしてください。
- ・インタラクティブディスプレイとリモートポインターの距離が近い場合、ポインターが表示される位置は、実際のリモートポインターが指し示す位置よりも若干画面周辺方向へずれたものになります。

### お願い

- ・リモートポインター用レンズが汚れたときは、柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふき取ってください。
- ・光学アタッチメントの取り外しは、回さずに引き抜いてください。
- ・性能が損なわれる場合がありますので、光学アタッチメントを分解しないでください。

## 電子ペンとして使う

電子ペンとして使う場合は、光学アタッチメントを外した状態で電源スイッチを「入」にしてください。(機能LEDは白く高速点滅しません。)電子ペンでは、次の操作を行うことができます。

### 描画

電子ペンのペン先で画面をタッチすることで、文字や図形を描画できます。

### 選択

電子ペンのペン先でメニューのアイコンをタッチし、各種設定や機能を選択できます。電子ペンを使って描画した文字・図形、ファイルから取り込んだ画像を選択できます。

### ドラッグ

電子ペンを使って、選択しているオブジェクトを移動できます。

電子ペンモード中は各ボタンが下記のように機能します。

ボタン1	使用しません
ボタン2*	ページ戻し / ページ送り
ボタン3*	ページ戻し / ページ送り / 描画色選択

※ ホワイトボードソフトウェアの  [設定] で機能を選択できます。

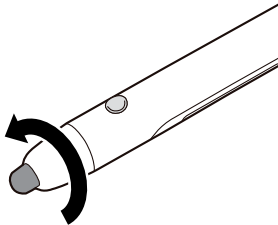
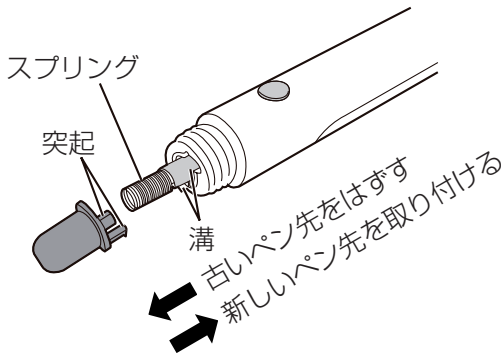
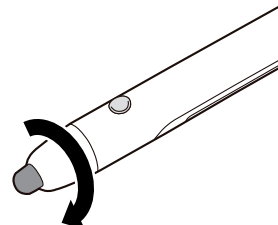
### お知らせ

- 電子ペンモード中は、ボタン2またはボタン3を押した場合機能に関係なく機能LEDが点滅する場合があります。
- ホワイトボードソフトウェアの詳しい操作方法についてはホワイトボードソフトウェアの取扱説明書を参照ください。(☞ 下記)

## 必要なとき

### 電子ペンのペン先交換

電子ペンのペン先が消耗してくると、ペン先のすべりが悪くなってきます。そのまま使い続けると、画面に汚れをつけたり、動作不良の原因となりますので、速やかに新しいペン先と交換してください。




<p><b>1 ペン先カバーをはずす</b></p> 	<p><b>2 古いペン先をはずし、新しいペン先を取り付ける</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ペン先の突起がペン本体の溝に合うように取り付けてください。</li><li>ペン先を交換する際には、スプリングをなくさないように注意してください。</li></ul> 
<p><b>3 ペン先カバーをつける</b></p> 	

### お願い

- ペン先の交換は電子ペンの電源を切ってから行ってください。

### ホワイトボードソフトウェアの取扱説明書を見る

ホワイトボードソフトウェアの取扱説明書を見るには、以下の手順に従ってください。

- 1 「WhiteBoard.exe」ファイルを、マウスの左ボタンでダブルクリックし、ホワイトボードソフトウェアを起動させる。
- 2 メインメニュー\*から  [ユーティリティ] →  [インフォメーション] →  [取扱説明書] を選択する。

※ メインメニューは詳細メニュー表示にしてください。

## 故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）

下表に従って処置してください。直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と処置	参照ページ
電源 LED が赤色に点滅している	充電時に充電式電池が入っていない、または本電子ペンに対応していない充電式電池を充電している → 単 4 形ニッケル水素充電式電池をご使用ください。	9、10
電源 LED が緑色に点滅している	単 4 形ニッケル水素充電式電池、またはアルカリ乾電池が消耗している → 単 4 形ニッケル水素充電式電池を充電してください、またはアルカリ乾電池を新しいものと交換してください。	9、10
機能 LED が赤と緑に点滅している	電子ペンが電子ペンアダプターに登録されていない → 電子ペンを電子ペンアダプターに登録してください。	9、13
描画の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のソフトウェアやウイルスチェックが動作している → 他のソフトウェアやウイルスチェックを停止してください。</li> </ul>	—
電子ペン、光学アタッチメントが機能しない（ボタンが動作しない）（描画できない）（電子ペンで筆記した線が欠ける・色が変わる）	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子ペンアダプターが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>電子ペンが電子ペンアダプターに正しく登録されているか確認してください。</li> <li>インタラクティブプラズマディスプレイがタッチペンモードになっていない。 → インタラクティブプラズマディスプレイの「タッチペン設定」を設定してください。</li> <li>他のソフトウェアやウイルスチェックが動作している → 他のソフトウェアやウイルスチェックを停止してください。</li> <li>単 4 形ニッケル水素充電式電池、またはアルカリ乾電池が消耗している → 単 4 形ニッケル水素充電式電池を充電してください、またはアルカリ乾電池を新しいものと交換してください。</li> <li>ワイヤレスモジュール（品番：ET-WM200）を接続した状態で電子ペンを使用している。 → ワイヤレスモジュールを接続した状態で電子ペンを使用すると、電波干渉等で電子ペンが正常に動作しない場合があります。その際は、「無線 LAN」を「オフ」にして電子ペンをご使用ください。</li> <li>電源を一度切って、もう一度電源を入れ直してください。リモートポインターとして使う場合は、光学アタッチメントをつけた状態で電源スイッチを「入」にしてください。電子ペンとして使う場合は、光学アタッチメントを外した状態で電源スイッチを「入」にしてください。</li> </ul>	12 13  12  —  10  インタラクティブプラズマディスプレイ取扱説明書ネットワーク操作編  14、15
コンピューターが電子ペンを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子ペンアダプターが接続されていない → 電子ペンアダプターをコンピューターに接続してください。</li> <li>USB ハブまたは延長ケーブルを通して接続している → USB ハブまたは延長ケーブルを通さずに直接コンピューターに接続してください。</li> <li>電子ペンアダプターが破損している → お買い上げの販売店へご相談ください。</li> </ul>	12  12  —
リモートポインターとして使用時にポインターが画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>光学アタッチメントが電子ペンに正しく接続されていない → 電源スイッチが「切」の状態、光学アタッチメントをリモートポインター固定用リムにはまるまでしっかり電子ペンに差し込んでから電源を「入」にしてください。</li> <li>リモートポインター用レンズが汚れている、または結露している → 汚れなどを柔らかい乾いた布で拭き取ってください。</li> <li>リモートポインター用レンズが破損している → お買い上げの販売店へご相談ください。</li> </ul>	14  —  —



# 仕様

種類	電子ペン
伝送方式	2.4GHz 無線伝送
使用電源	単4形ニッケル水素充電式電池 × 1 または、単4形アルカリ乾電池 × 1
外形寸法 (長さ × 高さ)	198.5mm x 22.1mm 236.3mm x 23.2mm (光学アタッチメント装着時)
質量	約 40g (付属の充電式電池を含む) 約 54g (光学アタッチメント装着時、付属の充電式電池を含む)
使用時間	約 4 時間 (単4形ニッケル水素充電式電池) 約 4 時間 (単4形アルカリ乾電池)
充電時間	約 4 時間 (単4形ニッケル水素充電式電池)
リモートポインター使用可能範囲	正面から : 8m 45° から : 5m (85,103 インチインタラクティブプラズマディスプレイ使用時)

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は……  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 修理を依頼されるとき

16 ページ「故障かなと思ったとき」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

### ● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

### ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ■ 保証書 (裏表紙に記載)

お買い上げ日・販売店名などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

### ■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このリモートポインターキットの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名、ご住所、電話番号、製品名・品番・お買い上げ日、故障または異常の内容、訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付: 9時~17時30分  
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

### ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社  
AVCネットワークス社

〒567-0026 大阪府茨木市松下町1番1号

© Panasonic Corporation 2012

M1212-0

Printed in Japan

## 〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
  - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
  - (ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
  - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  - (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
  - (ヘ) 本書のご添付がない場合
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (チ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

# Panasonic

出張修理

## リモートポインターキット保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	TY-TPEN1RM
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電話 ( ) —
※ 販売店	住所・販売店名 _____ 電話 ( ) —

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社  
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

